

科目名	社会心理学	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			法律学科	□ 必修 ■ 選択
			学科	□ 必修 □ 選択
英文表記	Social Psychology	開講年次	□ 1年 □ 2年 ■ 3年 □ 4年	
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	せと ひろし	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	瀬戸 泰	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面のみ <input type="checkbox"/> 遠隔のみ <input type="checkbox"/> 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	「人間は社会的動物である」といわれるように、私たちは、社会からの影響を受けるとともに、同時に、社会に影響を与えながら生活を送っています。社会心理学は、人の心や行動を、社会との関わりの中から説明しようとする学問です。本授業では、社会心理学に関する代表的な実験や理論を学び、社会の中で生きる私たち自身について理解を深めることをテーマにします。			
到達目標	1. 社会心理学に関する代表的な実験や理論を理解し、説明することができる。 2. 社会生活における身近な出来事や現象について、社会心理学的な知見を当てはめ、考察できる。			
授業概要	座学を中心に、社会心理学に関する基本的な内容を取り扱います。単に知識を紹介することにとどまらず、具体事例等を織り交ぜ、社会心理学の知見をいかに日常生活に活かしていくかという視点から授業を行います。			
授業計画				
第1回	イントロダクション	(授業の概要、社会心理学とは、場の理論、相互作用)		
第2回	集団の中の個人①	(内集団・外集団、集団間葛藤、社会的な手抜きと補償)		
第3回	集団の中の個人②	(傍観者効果、同調、服従、集団意思決定)		
第4回	集団の中の個人③	(集合行動、パニック、流言)		
第5回	対人関係	(対人魅力、恋愛、対人関係の過程、対人葛藤)		
第6回	対人認知	(印象形成、ステレオタイプ、偏見・差別)		
第7回	態度と説得	(態度とは、説得的コミュニケーション、交渉)		
第8回	自己と社会	(自己概念、自己評価、自己呈示、自己開示)		
第9回	社会的認知①	(社会を捉える心の仕組み、バランス理論、認知的不協和)		
第10回	社会的認知②	(公正世界仮説、社会的交換理論、社会的ジレンマ)		
第11回	社会的認知③	(原因帰属、社会的推論)		
第12回	家族という集団	(家族心理学、家族療法、ブリーフセラピー)		
第13回	学校という集団	(教育・学校心理学、いじめ、不登校、ピグマリオン効果)		
第14回	マインド・コントロール	(カルト、洗脳、脱・マインド・コントロール)		
第15回	文化と個人	(文化による心理・行動への影響、集団主義と個人主義、マスメディア)		
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	学習内容の定着を図るため、毎回、復習を行うようにしてください(1時間程度)。 授業で学んだことを、日々の経験や日常生活で意識的に当てはめ、考察・活用できるよう努めて下さい。			
履修条件 受講のルール	履修のための条件はありません。			
テキスト	毎回、講義用レジュメを配布します。			
参考文献・資料	山田一成 ほか(編)『よくわかる社会心理学(やわらかアカデミズム・わかる)シリーズ』(ミネルヴァ書房、2007年)			
成績評価の方法	試験 70%、毎回のコメントシート 30% ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試			

	験を受けることができません。
オフィスアワー	毎週月曜日・水曜日 10:30~12:00 ※上記以外の時間帯でも、研究室に在室中であればお声がけください。 E-mail : <a href="mailto:seto@nau.ac.jp">seto@nau.ac.jp</a>
成績評価基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	—
学生へのメッセージ	<p>「なぜ、過剰に空気を読んで、他者に合わせてしまうのか」  「なぜ、集団で決めたはずなのにうまくいかないことが多いのか」  「物事が上手くいかないのは、自分のせいなのか、世界のせいなのか」など、皆さんは日常生活で感じたり考えたりしたことはないでしょうか。</p> <p>社会心理学では、こうした「個人」と「集団や社会」との関わりに関する心理・行動的な側面について、様々な興味深い実験等を通じて検証が行われています。私たちは皆、生きている限り社会と関わっており、その意味では社会心理学の知見は、日常生活を送るうえで役立つ実践的な知恵になると考えられます。</p> <p>理論と実践を往復して学びやすい分野と考えられますので、ぜひ気楽に受講してみてください。</p>